

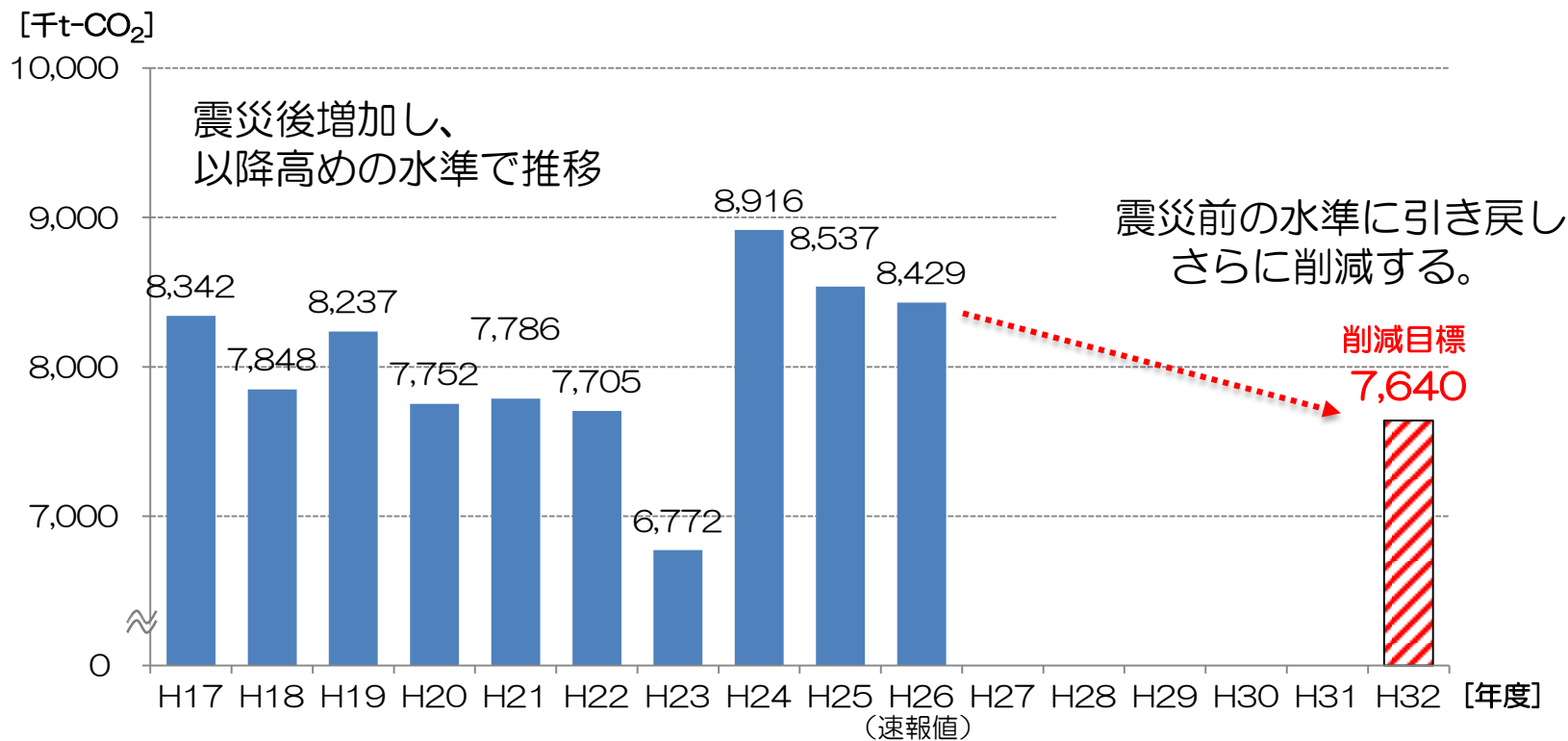
温室効果ガス削減計画書制度 モデル事業について

1. 本市の温室効果ガス排出量の推移と削減目標

▶ 「仙台市地球温暖化対策推進計画2016-2020」策定（平成28年3月）

削減目標

平成32年度に平成22年度比で、0.8%以上削減
国の目標に5%上積みした水準から目標年度に換算し設定



2. 平成28年度の新たな取り組み

- 「仙台市地球温暖化対策推進計画2016-2020」に基づき、新たな取り組みを開始

市民等

省エネ設備導入や
断熱改修等の支援



① 熱エネルギー有効活用支援
補助制度の創設

(愛称) Let's 熱活! 補助金

事業者

温室効果ガス及び
コスト削減に向けた
仕組みづくり

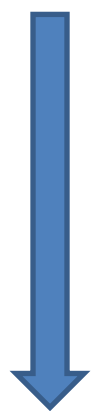


② 温室効果ガス削減
計画書制度モデル事業の実施

3. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

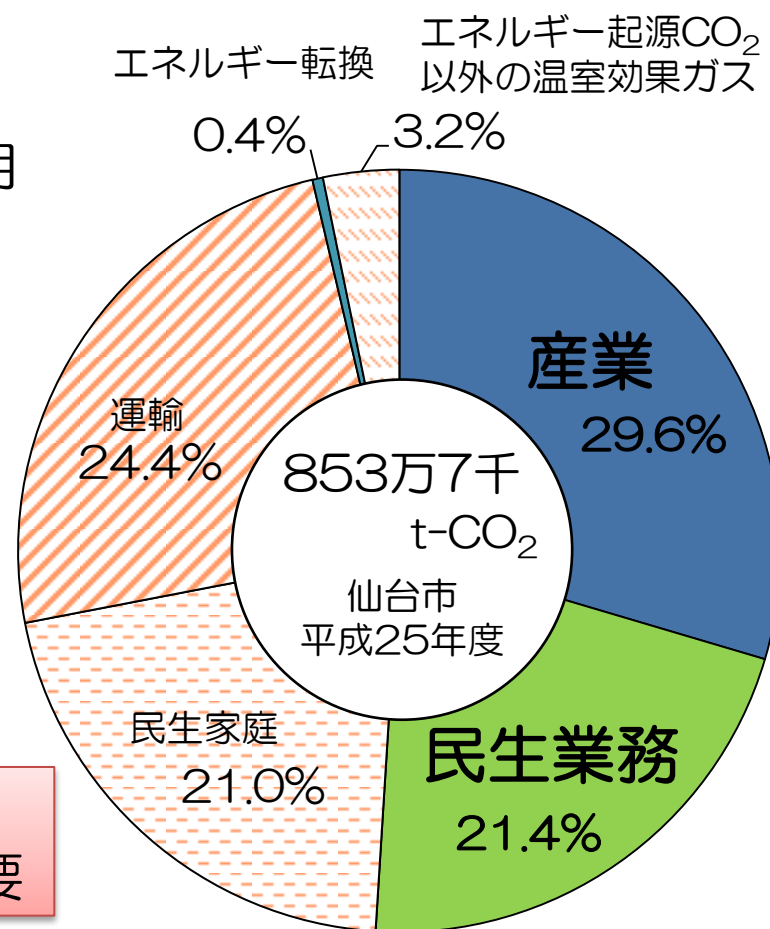
(1) 背景

- ▶ 仙台市域の温室効果ガス排出量
 - 事業者（産業と民生業務）が全体の約50%
 - うち一定量以上のエネルギーを使用する事業所*のみで全体の約25%



事業者の温室効果ガス、コスト削減に向けた仕組みが必要

「計画書制度」により、排出量削減の実効性を高めることが必要

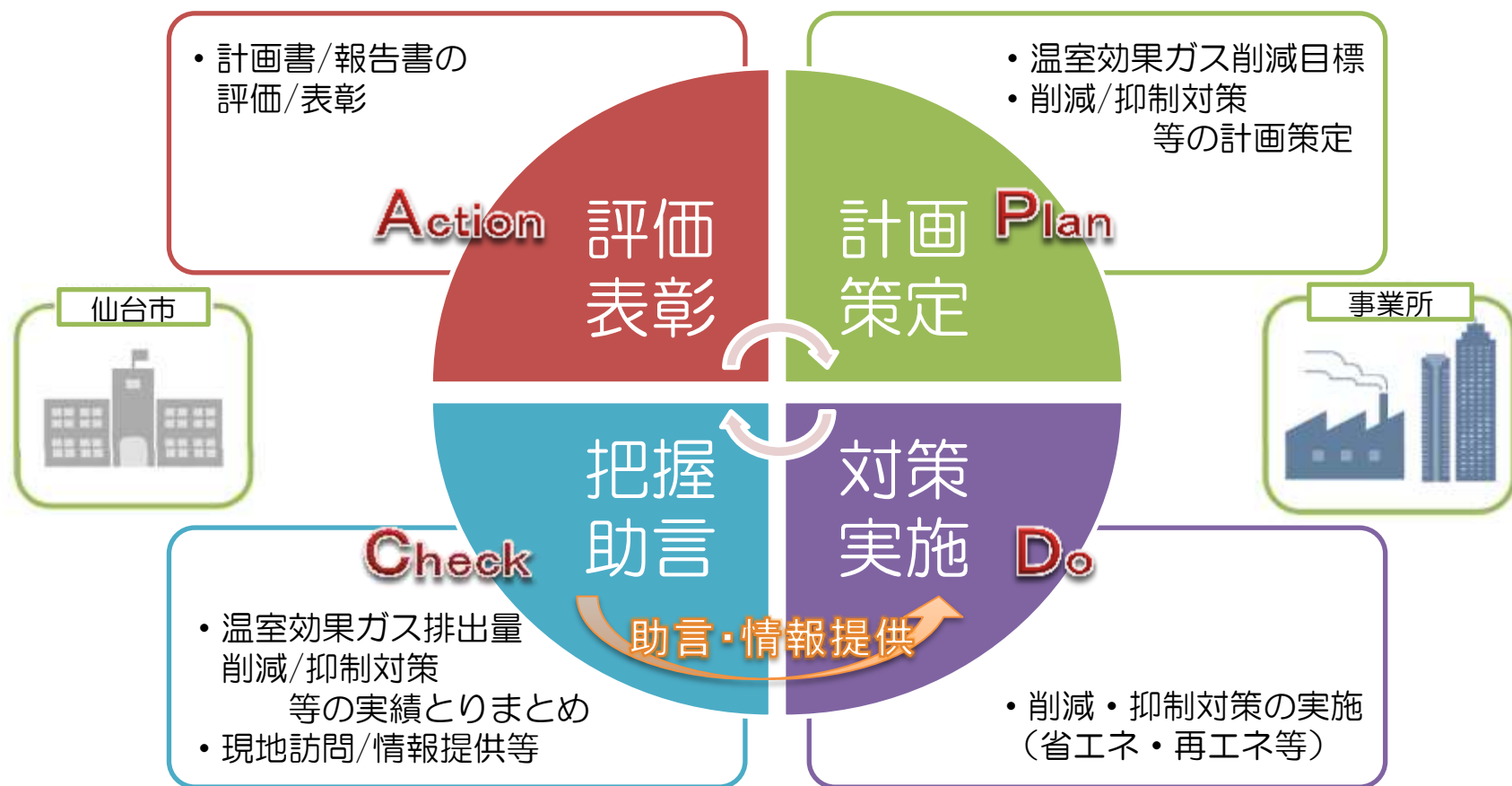


* 原油換算1,500kL以上のエネルギーを使用し「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」の指定を受けている工場等。

3. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

(2) 計画書制度の概要

➤ 事業所と行政が協働して計画的な温室効果ガス削減を目指す仕組み



3. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

(3) モデル事業の必要性

- 先行事例では、制度骨格の違い等により様々な課題が見られる

課題

- 書類作成の負担が大きい
- 既に行っている以上の取り組みが思いつかない
- 事業拡大しながらの削減は難しい
- …

負担を減らす方法は？

業種や設備に応じた
取り組みとは？

事業者の取り組み意欲向上に
有効な方策は？

など

モデル事業を通じて課題解決が必要

3. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

(4) モデル事業の参画事業所

- 以下に着目し10事業所の参画協力を得る
 - ・ 第3次産業の事業所が多い本市の特性
 - ・ 製造業、小売業、宿泊施設、事務所など多様な業種

参画事業所

- キリンビール(株) 仙台工場
- 日本ファインセラミックス(株) 本社工場
- 河北新報印刷(株) 印刷センター
- (株)藤崎 本館
- 仙台ターミナルビル(株) エスパル仙台店・ホテルメトロポリタン仙台
- 東北電力(株) 本店
- 東北大学 工学研究科
- 宮城県庁舎
- 仙台市立病院
- 仙台市中央卸売市場 食肉市場

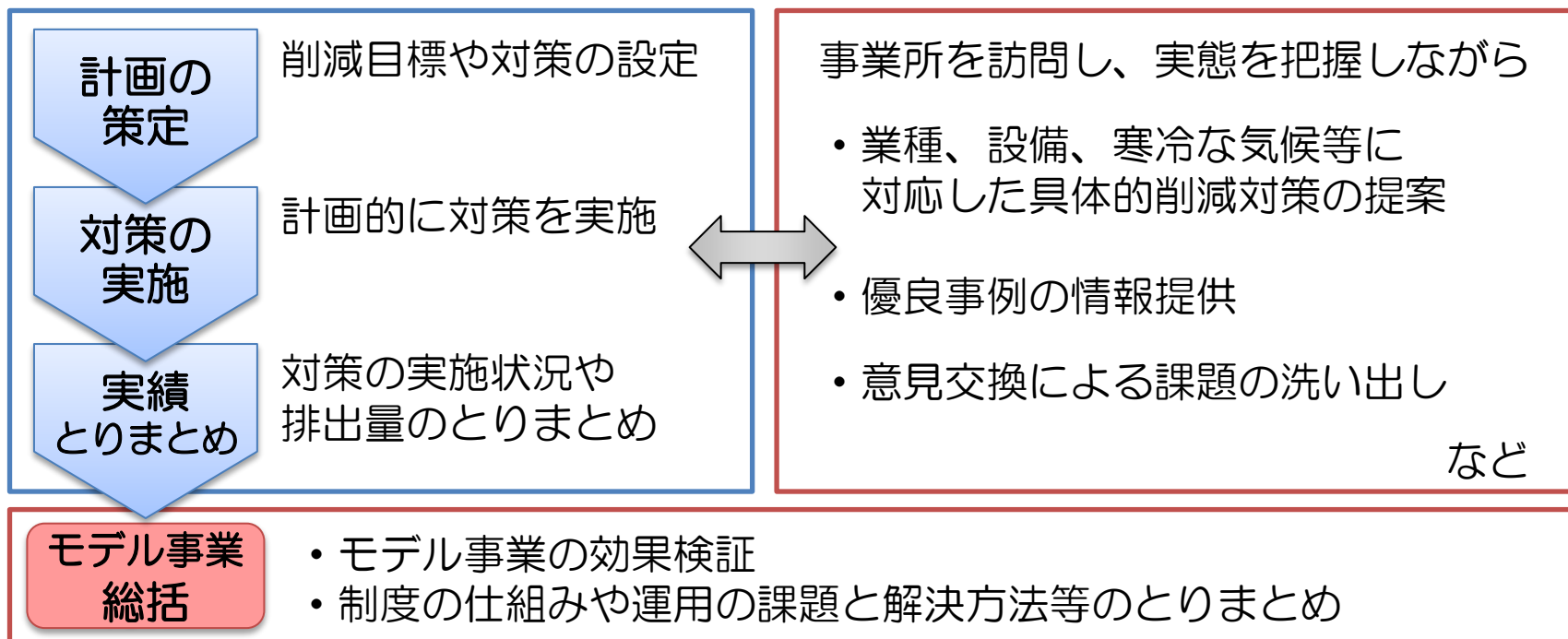
3. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

(5) モデル事業の実施内容等

➤ 事業者の視点を取り入れた課題の洗い出しと解決策の検討

事業者の取り組み

市による支援等


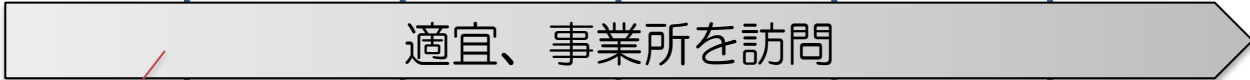




仙台ならではの実効性ある枠組を検討

3. 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

(6) モデル事業のスケジュール

- 通年の対策実施を含む平成28年度～平成29年度を予定

	平成28年度		平成29年度			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
計画の策定						
対策の実施	 適宜、事業所を訪問					
実績 とりまとめ						
モデル事業 総括						

より良い制度に向け
実態把握や意見交換を実施

4. 目標の達成に向けて

市民・事業者等と連携・協働して
取り組みを推進して参ります。

